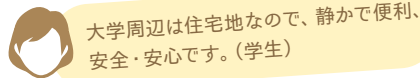


学生生活

お金・時間の余裕が実り多い将来を拓く

一人暮らしでも、私大より経済的。負担が少ない

大学生協提携アパートは本学周辺に約1,000室、月3万円台も多くあります(射水キャンパス周辺)。アパート生の平均年間経費試算合計額は、本学130万円以下。全国平均と比べても安くなります。自宅生の小遣い平均額は月1万円ほどで、更に経済的余裕が生まれます。



入学者特待生制度

(富山県内高等学校出身者向け・学部向け)

- 1年次生の入学料と授業料を免除…(免除額:723,800円)
- 成績優秀者は2年次生以降も授業料を免除…(免除額:毎年535,800円又は267,900円)

車通学が可能(工学部・情報工学部)

一年生から学生駐車場が利用できます

通学に、余暇活動に、将来を見据えて、時間を有効活用できます。

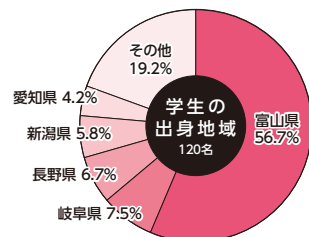
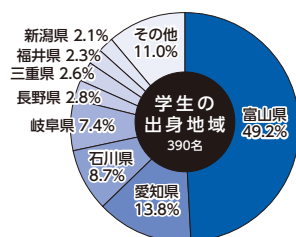
富山・射水2キャンパスをつなぐシャトルバス

看護学部生は、教養科目を射水キャンパスで学びます。富山と射水の両キャンパス間は無料スクールバスで安全・快適に移動できます。

全国からの仲間と交流できます

学生の出身地域(2023年度入学生)

【工学部】富山県外出身者が5割以上 【看護学部】4割以上が県外出身者



工学部・アパート生の年間経費試算 公私比較

	A 富山県立大学	B 東京私大	C 全国平均
授業料	約54万円	約91万円(※)	
仕送り額	約68万円	約102万円	約85万円
合計	約122万円	約193万円	約176万円

A: 2022年富山県立大学生協調べ
B: 東京私大教連「私立大学新入生の家計負担調査2019年度」
C: 全国学生生活協同組合連合会「第56回学生生活実態調査」(2020)
(※) 文部科学省私立大学等の令和元年度入学者に係る学生納付金等調査結果について

学内アルバイト(工学部・情報工学部)

本学では、学生が大学運営や教育・研究に携わる学内アルバイトもあります。オープンキャンパスなどの受付・引率、実習授業などでのTA(教育アシスタント)、学科の研究支援など、お金をもらって自らも成長する機会となります。

サークルは34と多彩 自主活動を応援します!

体育系サークル(16団体)

- e-sports部 ●サッカー部
- バドミントン部 ●ダンスサークル
- バスケットボールサークル ●軟式野球部 他

文科系サークル(17団体)

- アカペラサークル ●発明倶楽部
- 軽音楽部 ●天文部 他

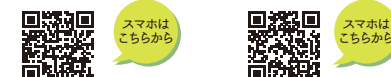
その他(1団体)

- 学生会



ウェブサイトでも最新情報を発信しています。高校生向けのコンテンツも随時更新中!ぜひチェックしてみてください。

大学公式ウェブサイト <https://www.pu-toyama.ac.jp>
高校生向け特設ウェブサイト <https://www.pu-toyama.ac.jp/special/>



SNSで最新情報を発信中!

大学公式Twitter <https://twitter.com/toyamaprefuniv>

大学公式Facebook <https://m.facebook.com/ToyamaPrefUniv/>

大学公式Instagram <https://www.instagram.com/toyamaprefuniv/>

看護学部のキャンパスです。最新情報をぜひチェックしてね!

射水キャンパス(工学部・情報工学部)

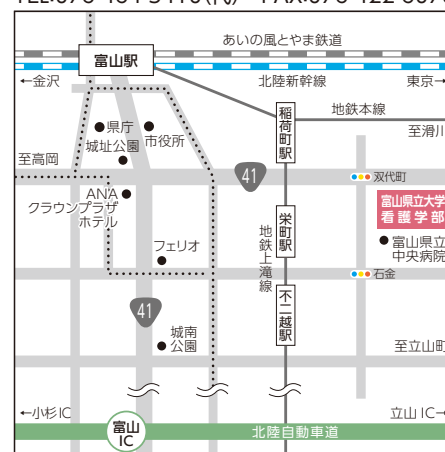
〒939-0398 富山県射水市黒河5180
TEL:0766-56-7500(代) FAX:0766-56-6182



あいの風とやま鉄道小杉駅南口から、徒歩約25分(約2km)、または射水市コミュニティバス「14.小杉駅-太閤山」バス乗車約7分。

富山キャンパス(看護学部)

〒930-0975 富山県富山市西長江2-2-78
TEL:076-464-5410(代) FAX:076-422-6070



JR富山駅、あいの風とやま鉄道富山駅から、地鉄バス「中央病院行」約20分、または地鉄電車「栄町駅」下車後、徒歩約7分。



保護者の皆様へ

富山県立大学 ご案内

CONTENTS

教育

教員の責任指導で
学生を伸ばす

研究

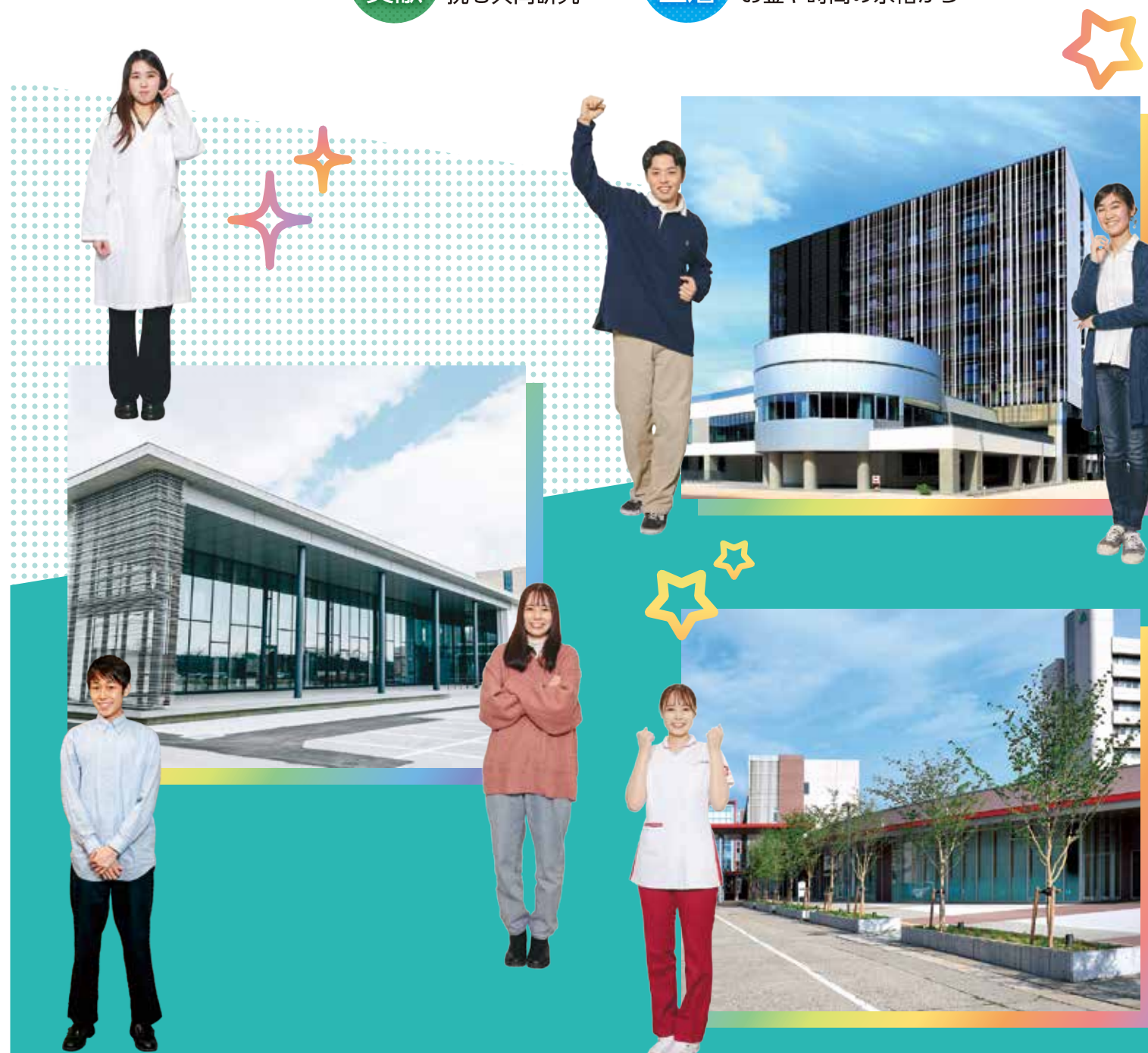
世界を変える先端研究

社会
貢献

世界の先端技術に
挑む共同研究

学生
生活

実り多い大学生活や進学は
お金や時間の余裕から



小さくても「宝石のように輝く大学」



**オリジナリティとインパクトある
仕事や研究ができる力を**

下山 勲 学長

前 東京大学IRT研究機構機構長、前 東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻教授。専門はロボット工学。

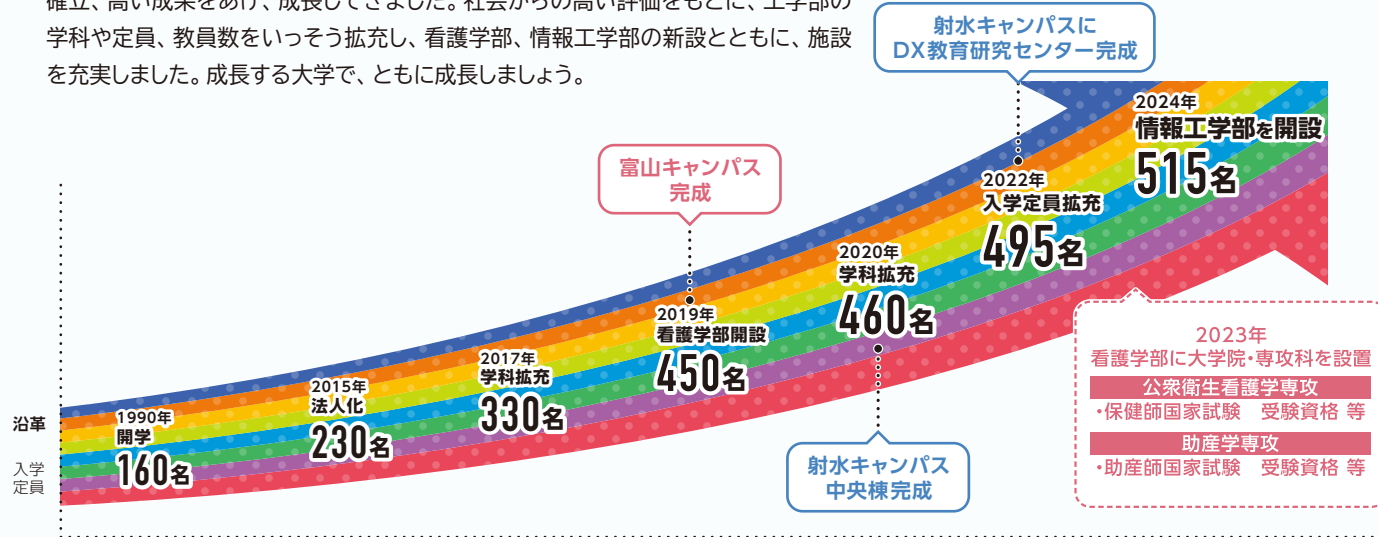
高校までの「学ぶ」は、先人の仕事のコピーを身につけることと言えます。大学や社会では学ぶとともに、日本や国際社会の課題解決につながるオリジナリティとインパクトある仕事や研究能力が求められます。本学は、そのための教育や研究の環境を整備し皆さんを支援します。社会に積極的に貢献する夢や志を持ち、大学生活を有意義に送ることを期待します。

教育

「学生を大事にする大学」

進化・成長を続ける大学で成長しよう

本学は、設立当初からの志と先見の明のもと、学生を大事にする教育や先端研究を確立、高い成果をあげ、成長してきました。社会からの高い評価のもとに、工学部の学科や定員、教員数をいっそう拡充し、看護学部、情報工学部の新設とともに、施設を充実しました。成長する大学で、ともに成長しましょう。



情報工学部 2024年4月新設

未来社会を創造するデジタルのエキスパートへ

1. データサイエンスの専門教育

データサイエンスとは、数学、統計学、機械学習、データマイニングなどの理論を用いてデータの分析や解析を行い、新しい価値を見出す学問分野です。情報工学部ではデータサイエンスに関する様々なカリキュラムを導入し、専門知識を習得した人材の育成を図ります。

3. デザイン思考による課題発見解決力

デザイン思考とは、ユーザーの潜在的課題を顕在化させ、仮説・検証を繰り返して試行することで解決策を発見しようとする思考法です。高度な技術開発を目指すだけでなく、この手法を身につけることで、これまでにない視点・柔軟な発想力、多様性を備えた利用者の真の課題解決に取り組む技術開発者・研究者を育成します。

5. 人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成

1年次から専門教育を学習し、基礎学力と広い視野を同時に身につける「クサビ型カリキュラム」の導入により高学年次にも教養教育科目を開講し、豊かな人間性と幅広い視野を持った技術者の育成を図ります。

2. 少人数によるゆきとどいた教育

少人数教育を中心に、一人ひとりの学生にゆきとどいた教育を行い、基礎学力の向上や人間力・実践力・創造力の養成に力を入れます。1年次には「教養ゼミ」、2年次には「デザイン思考」、3年次には「実践デザイン思考、プレゼンテーション演習、卒業研究1」、4年次では研究室での「卒業研究2」を行います。

4. 企業の技術者との連携授業

企業や官庁などで活躍されている方々を講師として招き、世の中の動きや経験、社会人になる前に身につけておくべき重要事項の講義を通じて、学生自身のキャリアの確立や職業観形成を支援します。

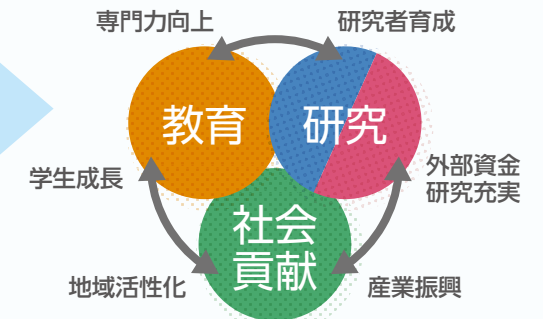
6. 学生の自立を促すキャリア教育

学生のキャリア形成につながる実践的なプログラムを、3年次に実施します。学生の自立心と高い志で学び続ける意欲を育成し、生涯にわたり着実にキャリアを形成していく力の向上を支援します。

理想の大学を富山に実現

藤井澄二初代学長は、MIT・東京大学・東京電機大学での経験をもとに「学生を大事にする大学」「地域社会に貢献し、世界に発信する大学」を創ろうと考えました。京都大学教育学教授の寛田知義初代学生部長が加わり、1年次から責任指導する少人数ゼミや「基礎科目」に始まる6年間一貫教育を構想し、1990年に開学。この構想に共感した多くの人たちの協力のもと、開学以来33年、教育・研究・社会貢献の相乗効果が生まれ、人材を育て産業を活性化し社会発展の核となる大学が富山で実現しています。

教育・研究・社会貢献の3使命を 実践し相乗の成果をあげる



入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)、教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)及び卒業時の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に基づいた教育体制により、学生の資質を大きく伸ばし社会に送り出すことをめざした先進的な大学です。

工学部

「工学心」を持った人材を育成します

1. 少人数によるゆきとどいた教育

少人数教育を中心に、一人ひとりの学生にゆきとどいた教育を行い、基礎学力の向上や人間力・実践力・創造力の養成に力を入れています。1年次には「教養ゼミ」、2年次には「トピックゼミ」、3年次には「プレゼンテーション演習、専門ゼミ、卒業研究1」、4年次では研究室での「卒業研究、卒業研究2」を行います。

3. 基礎知識・基礎技術の確実な修得

全ての学年のカリキュラムに、実験や実習・演習を多く設け、学生が自らの力で未知の分野の技術を開拓する応用能力の育成を図っています。

5. 学生の自立を促すキャリア教育

学生のキャリア形成につながる実践的かつ体系的なプログラムを、入学から卒業まで一貫して実施しています。学生の自立心と高い志で学び続ける意欲を育成し、生涯にわたり着実にキャリアを形成していく力の向上を支援します。

2. 人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成

1年次から専門教育を学習し、基礎学力と広い視野を同時に身につける「クサビ型カリキュラム」の導入により高学年次にも教養教育科目を開講し、豊かな人間性と幅広い視野を持った技術者の育成を図っています。

4. 学部・大学院を通じた連携教育体制の確立

学部・大学院(博士前期課程)の6年一貫教育を意識した体系的なカリキュラムを確立。大学院のMOT(技術経営)科目などを学部生にも開放し、より高度な職業人の育成に取り組んでいます。

6. 体系的な環境教育プログラムの実施

持続可能な社会の実現に向けて、「環境への幅広い視野と倫理観」(環境リテラシー)を備えた工学技術者を育成するため、導入教育から専門教育に至るまでの体系的な環境教育プログラムを実施しています。

看護学部

学生の看護力を最大限に伸ばします

1. 「自ら学ぶ力」を身につける

少人数によるグループ学修やアクティブラーニングなど、主体性を持って協力して課題に対応する学び方を多く取り入れます。また、豊富なeラーニング教材を用いて、学生が自ら学ぶ姿勢を支援します。専門的な知識・技術の修得はもちろん、物事を多様な観点から考察する能力や創造性を養います。

3. 工学的な視点を「看護」の世界へ

看護学・工学連携科目を配置し、工学的視点を取り入れた人にやさしい看護学について学び、新時代の看護師を目指します。

5. さらなるステップアップの道へ

看護学を研究するための「大学院看護学研究科」及び保健師・助産師を養成する「専攻科」を2023年4月に開設しました。看護学部卒業後も継続して本学で学び続けられます。

2. 多様な実習の場で実践力をつける

先端医療を提供する富山県立中央病院をはじめ、県内の公的病院や訪問看護ステーション、様々な保健医療福祉施設で、地域に密着した実習を行います。あらゆる健康段階にある方に適切な看護ケアを提供するための実践力を身につけます。

4. キャリア形成科目で自分らしい生き方を探る

1年次から、「トピックゼミ」「キャリア体験実習」を通して、自分らしい看護師像や働き方について考えます。県内公的病院などへの就職もサポートします。

看護学と工学の連携

看護学部では、看護学に工学的視点を取り入れ、「経験や勘」に頼る部分も多い看護ケア技術を、工学の力を使って「見える化」し、理論的に学びます。



岡本恵里 教授
(看護学科)

工学の力を借り、私たちの技術がどのような成り立ちか分析していく。学生たちにしっかりとした理論を伝えるには、工学との連携が不可欠だと思います。

▼ 研究例あらし

▼ 学生の研究例

データサイエンス学科

定員40名



- 能率的な学習方法を支援する技術開発
- 自律移動ロボット知能の開発と評価
- データサイエンスに基づく意思決定支援のための基盤技術
- ビッグデータ分析による交通事故要因の分析と予測など

システム数理学講座

地域、社会、人間、生体、人工物などを包含する広範な「システム」に内在する意味のある情報であるシステム情報の処理・利活用のためのデータ応用技術の創出に寄与することを旨とします。



情報システム工学科

定員60名



- センサ利用技術・ソフトウェア応用技術を利用した高度な情報システム
- 人の行動や活動の認識・変容技術
- 3次元情報取得などの高度な映像処理・表示技術
- モノやコトが生み出す膨大なデータを解析・提示する仕事など

仮想力覚を強くする実験

人間の知覚特性・錯覚を利用し、振動で引っ張られる感覚を生む装置です。パイプレーザーで非対称振動を発生させ、仮想力覚の効果を測定します。



知能ロボット工学科

定員60名



- 知的な福祉・看護支援ロボットなどの研究
- 柔軟で優れたインタフェースの研究
- 先端医療などに貢献する知的計測技術研究
- 人と協調する知的な情報システムの研究など

被災情報収集活動を安定支援するロボット開発

閉鎖空間における災害状況などの情報収集活動を安定して行うために、マルチロボットを用いた多段中継ネットワークの構築手法を開発しています。移動ロボットの遠隔操作に必要な通信接続性を維持しながら迅速かつ網羅的な情報収集を実現します。



機械システム工学科

定員60名



- エネルギーの輸送・変換・利用技術
- 情報機器や生産機械を構成する材料の強度
- 機械製品のライフサイクル設計
- 軽金属・高分子・複合材料の開発など

未来の電子機器を熱から守る

小型化と高性能化が進む電子機器を効率的に冷やすために、スーパーコンピュータを使ったシミュレーションや実験で、液体を使う新しい冷却システムを開発しています。



電気電子工学科

定員45名



- 半導体集積回路の設計技術
- イメージセンサの開発
- 次世代パワー半導体の開発
- システム制御技術など

AIを支える「眼」を創る

人間には見えない赤外線や、ごくわずかな色の違いも識別できるインテリジェントなイメージセンサの研究に取り組んでいます。農産物や建造物の非破壊検査等に役立ちます。



環境・社会基盤工学科

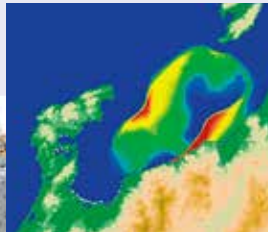
定員55名



- 水・大気・土壌環境の調査・分析、評価
- 自然と調和した地域デザイン
- 災害に強い社会基盤を作る理論と技術
- 再生可能な新エネルギーの開発など

水災害を事前に想定する

富山湾の津波や寄り回り波、洪水など最悪のシナリオを考慮し、現地調査し解析・可視化します。新しいハザードマップの作成に取り組んでいます。



定員120名

魅力

必要な能力

身に付けるための教育

本学の特色ある講座

1 看護ケアと工学(2年次)

看護ケアが患者・看護師の身体や心にも与える影響を、看護学と工学の両方の視点から学び、人にやさしい看護学について考えます。

2 トピックゼミⅠ～Ⅳ(1～2年次)

1年次から、少人数でグループ学修し、コミュニケーション能力や表現力を高めます。

3 看護ケアとユマニチュードⅠ～Ⅳ(1～4年次)

フランス発祥の知覚・感情・言語のコミュニケーションによるケア技法を、日本の大学で初めて、学部4年間を通じて学びます。

4 フィジカルアセスメント(1年次)

身体診察技法は、人々の健康レベルを把握し、適切な医療やケアに結びつけます。

5 多職種連携論(4年次)

チーム医療での多職種の機能と看護の役割、在宅医療や地域包括ケアで協働できる能力を身につけます。



全国初！4年間を通じた体系的なユマニチュードの教育

創始者 ジネスト先生による4日間の集中講義

医療現場でも注目されているユマニチュード (Humanitude®) とは、フランス人イヴ・ジネスト氏が創始し、東京医療センターの本田美和子医師が日本に導入した画期的なコミュニケーションケア技法です。基本的な技術である「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つを活用すると共に、相手と良い関係を結ぶための「5つのステップ」を大切にしています。

ドアや机などをノックして自分が来たこと知らせる「**出会いの準備**」。相手が気付いたら近づき、目を合わせてあいさつをすることで良い関係を結ぶ「**ケアの準備**」。ケアの同意が得られたら、「あなたの事を大切に思っています」というメッセージを伝えながらケアを行う「**知覚の連結**」。ケアを終えたら、共に過ごしたよい時間を振り返る「**感情の固定**」。最後に、次に訪れることを約束し次のケアへつなげる「**再会の約束**」。

すべてのステップで、「見る」「話す」「触れる」の技術のうち2つ、できれば3つを同時に行います。この包括的コミュニケーション技術によって、話ができなかった人が「ありがとう」と言ってくれるようになる、食事がすまなかった人がおいしそうに食べるようになるなど、「その人らしさを」取り戻すことができます。

本学では、ユマニチュードの技法を学ぶため、フランスからイヴ・ジネスト先生をお迎えし、4日間の集中講義で直接指導を行います。(2022年度はリモートで実施)



イヴ・ジネスト客員教授



イヴ・ジネスト客員教授を中心に(左)本田美和子医師、(右)竹内登美子元学部長

生物工学科

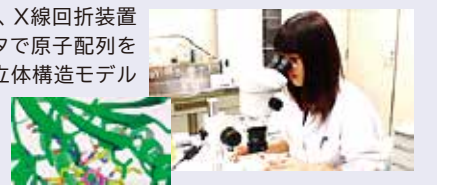
定員40名



- バイオテクノロジーを駆使した医薬品および診断法の開発
- 微生物・植物による有用物質生産
- 疾病予防に有効な食品成分の機能に関する研究
- 有機化学および応用微生物学に基づく医薬探索・開発研究など

タンパク質の構造を決定する実験

タンパク質の結晶を、X線回折装置で測定。コンピュータで原子配列を決定し、タンパク質立体構造モデルを構築。医薬品生産のための産業用酵素の研究開発などに役立ちます。



医薬品工学科

定員35名



- 医薬品の分子設計・製剤化・品質管理
- バイオ医薬品の製造
- 医薬品関連材料の設計・製造
- 医薬品の体内動態・代謝・副作用
- モデル動物等を用いた疾患の解明など

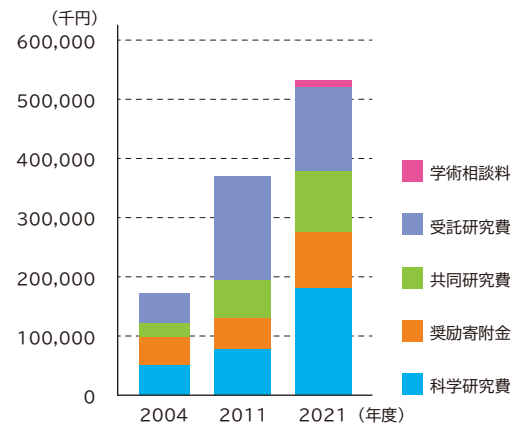
免疫難病の病態解明と治療薬の開発研究

様々な疾患モデル動物を用いて、免疫細胞の変化をフローサイトメトリーなどで解析し、難病の病態を解明します。免疫を調節する化合物を探索し、難病の治療薬開発に取り組みます。



世界の先端技術に挑む受託・共同研究 世界や地域に貢献する研究拠点として

■本学先端研究への評価と期待 外部資金が大幅増加



受託研究、共同研究など、本学の先端研究への期待は高く、2022年度は国内外の大学・機関・企業等から350件以上、4億円以上の外部資金を受け、先端研究開発の充実はもちろん、院生の国際会議発表の旅費にも充てています。

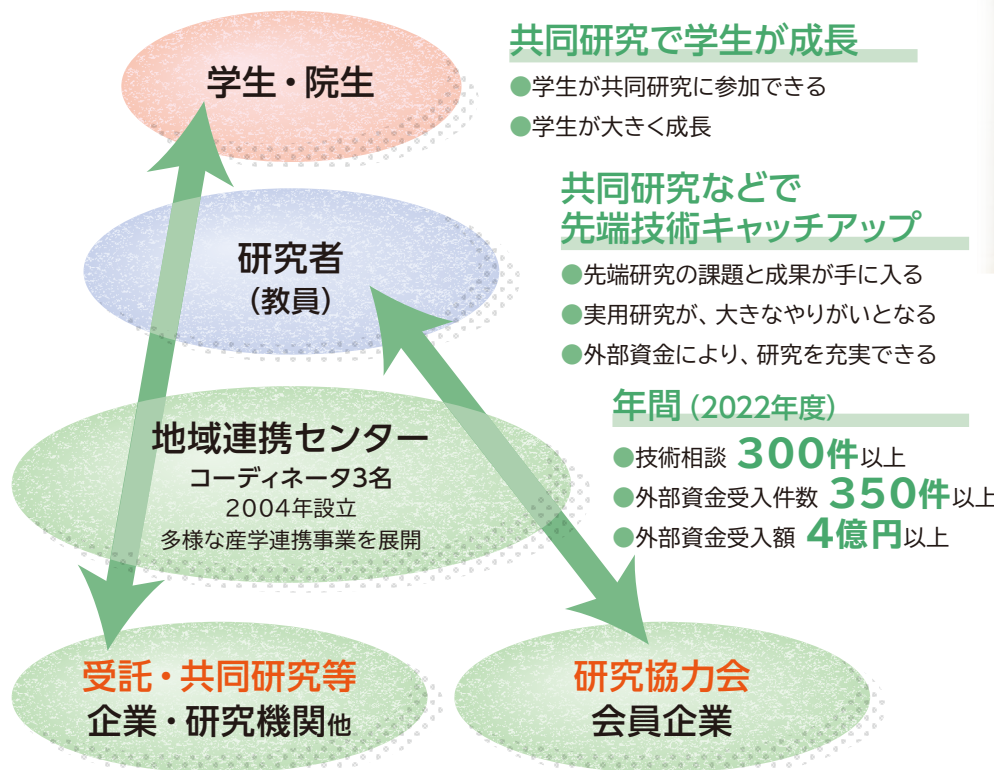
中でも、受託研究費は、18年間で約2倍以上に伸びており、本学の研究力の高さを示しています。

【受託・共同研究団体例】(2022年度)

- 機関** 科学技術振興機構、(独)日本学術振興会、富山県、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 他
- 企業** 北陸電力(株)、YKK(株)、(株)小松製作所、三菱ケミカル(株)、(株)タニタ、サントリーウエルネス(株)、NECネットエスアイ(株) 他

■産業振興とともに、先端研究や教育に成果

- 教員の先端研究の推進や、学生の教育の向上に大きな成果が生まれる
- 企業や研究機関、自治体やNPOなど、社会に大きな貢献ができる



共同研究で学生が成長

- 学生が共同研究に参加できる
- 学生が大きく成長

共同研究などで先端技術キャッチアップ

- 先端研究の課題と成果が手に入る
- 実用研究が、大きなやりがいとなる
- 外部資金により、研究を充実できる

年間(2022年度)

- 技術相談 **300件**以上
- 外部資金受入件数 **350件**以上
- 外部資金受入額 **4億円**以上



共同研究などを通じ、本学の研究者や学生は、先端技術の研究に常に関わることになるのじゃ。



企業・研究機関のメリット

- 大学研究者などの成果活用
- 企業の研究の向上

富山県立大学には、大変お世話になっています。自社だけでは解決が難しい課題も、各分野の専門研究者に相談でき、共同研究できる体制が整っているのは有難いですね。卒業生も優秀で当社の大きな戦力です。(企業研究者)

研究協力企業のメリット

- 企業研究者が、産学連携し、
- 研究開発ニーズや情報を交換する交流会
- 異業種企業と大学によるテーマ別研究会
- 技術者向けセミナーなど

【研究協力会法人会員】

- (発起人のみ) 全216社 2022年12月末現在
- (株)インテック ●富士フイルム富山化学(株)富山第一工場 ●協和ファーマケミカル(株)
 - (株)不二越 ●コーセル(株) ●北電情報システムサービス(株) ●(株)スギノマシン
 - 北陸電力(株) ●立山科学工業(株) ●(株)リッチェル ●田中精密工業(株) 他

DX教育研究センター



2022年4月にDX教育研究センターの供用を開始しました。DXとはデジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用することにより社会に変革をもたらし、人々の暮らしをより良くするという概念です。射水キャンパスにDX教育研究センターを新設し、地域社会はもとより広く人々の生活を支援するための人材教育や高度な研究を推進します。センターでは、最新の機器の活用により最先端の教育や研究に携わることができ実社会で活躍する優秀なDX人材を育成します。

【地域貢献】 地域協働事業

地域協働授業で主体的に課題解決できる能力を育てる

地域の人々との対話を通して地域の課題を学ぶとともに、その課題を科学的に考察する力やコミュニケーション力の向上、地域貢献する態度の形成を図る地域協働授業に取り組んでいます。

射水市 × 鳥山トピックゼミ

地域の高齢者向けにeスポーツ体験会を実施しました。



富山市西町商店街 × 濱トピックゼミ

商店街のお店と協働し、SNS用のPR動画を作成し、配信しました。



小中学校(射水市) × 岩井専門ゼミ

射水市内の小中学校で、ドローンを使ったプログラミング体験教室を行いました。



小杉まちづくり協議会(射水市) × 小林教養ゼミ

地域の古写真を活用した児童向け教材を開発しました。



富山県立大学に入学してよかったと思うこと(在学生、卒業生に聞く)

富山県立大学に入って良かったと思う点は?

大学院1年生 伊藤 大翔さん
愛知県 | 一宮高等学校出身

高校生の時、私は大学の授業は専門用語ばかりが飛び交い、難しいのではないかと感じていました。ただ県大では基礎をしっかりと教えてくれるので、心配していたほどではありませんでした。わからないところがあれば、授業の後すぐに先生のもとに行き、質問しています。先生は私がどこで躓いているかを理解した上で、教えてくださいます。おかげで学ぶことが好きになりました。

富山県立大学に入って良かったと思う点は?

4年生 畑 ことみさん
北海道 | 北海道北広島高等学校出身

県大はあまり学生数の多い大学ではありませんが、その分、同学年だけでなく先輩や後輩の知り合いを増やすことができます。授業でわからないところがあったら、友達や先輩に聞けますし、先生にも聞ける。「わからないところがあるので研究室にうかがっていいですか」と先生にメールを送ると、いつも快く対応していただけます。

富山県立大学を志望した理由は?

4年生 先田 涼真さん
石川県 | 七尾高等学校出身

子どもの頃からものづくりが大好きで、ダンボール等を利用して車体をつくり、モーターを搭載してタイヤを駆動させて遊んでいました。大学では電気電子系の学科に進んで、将来はものづくりに関わる職業に就きたいと考えており、また、実家から遠くない場所への進学も希望していました。それを高校の担任に相談すると、富山県立大学を勧められ、志望するようになりました。

情報システム工学科を志望した理由は?

4年生 金子 蓮さん
新潟県 | 新発田南高等学校出身

元々工学系の分野に興味があったのですが、最近の情報システムの発達が発達した生活に便利になっているのを見て、将来はそういうシステムを開発するエンジニアになりたいと思いました。そこで進学先を探していくと、富山県立大学は情報系の学科を拡充すると大学案内にありましたので、本学を志望しました。

環境・社会基盤工学科を志望した理由は?

卒業生 牧佑 之介さん
愛知県 | 一宮興道高等学校出身

高校生の時「地理」への関心が高まり、そこから環境に興味を持つようになりました。雨などの環境要因も、地形の変化に関わっています。一方で私は土木にも関心があり、県大の環境・社会基盤工学科では両方を学ぶことができることを知り、志望しました。ここで学んだことを生かし、施工管理の仕事をしています。

富山県立大学を志望した理由は?

3年生 柴田 萌乃華さん
福井県 | 仁愛女子高等学校出身

富山県は「薬のとやま」として知られ、製薬会社が多く、製薬に関するノウハウが蓄積されています。そういう中で開発された薬も多く、製薬に関する知見が豊富な富山で薬のことを学びたいと思い本学を志望しました。私は、微生物の力を応用した薬の開発に関心があり、将来その分野で活躍できたらと願っています。

医薬品工学科を志望した理由は?

4年生 中西 伶奈さん
兵庫県 | 西宮東高等学校出身

中学生の頃から、将来は薬の開発に携わりたいと思っていました。高校3年生になって志望校を具体的に検討し始めた時、塾の先生から、「富山県立大の医薬品工学科は、薬の成分から、剤形、製造、包装まで一貫して学べる、他ではあまり例をみない学科だ」と教えていただき、志望しました。薬学と工学の両面から薬の開発について学ぶことができ、良かったと思います。

県大看護学科の何が魅力でしたか?

3年生 浅井 優花さん
富山県 | 呉羽高等学校出身

県大の看護学科で、他ではあまり例をみないユマニチュードや、看工連携の視点から学ぶことができるとわかりました。ユマニチュードは患者の尊厳を大切に、コミュニケーションを密にする手法です。看工連携では、工学の視点を取り入れて看護技術の向上を図ります。私はこれらに魅力を感じ本学を志望しました。

